

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称:

製品名称: フェノール試薬

SDS No.: E0092-4

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称: キシダ化学株式会社

住所: 大阪市中央区本町橋3-1

担当部署: 化学品安全管理部

電話番号: (06)6946-8061

FAX: (06)6946-1607

e-mail address: kagakuhinanzenkanri@kishida.co.jp

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性(経口): 区分 4

急性毒性(吸入): 区分 3

皮膚腐食性/刺激性: 区分 1

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分 1

呼吸器感作性: 区分 1

生殖細胞変異原性: 区分 2

発がん性: 区分 2

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 2(呼吸器系)

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 2(全身毒性、精巣、歯、呼吸器系)

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性): 区分 2

水生環境有害性 長期(慢性): 区分 3

GHSラベル要素



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

飲み込むと有害

吸入すると有毒

重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷

重篤な目の損傷

吸入するとアレルギー、ぜん息または、呼吸困難を起こすおそれ

遺伝性疾患のおそれの疑い

発がんのおそれの疑い

臓器の障害のおそれ(呼吸器系)

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(全身毒性、精巣、歯、呼吸器系)

水生生物に毒性

長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策



環境への放出を避けること。
 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
 換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。
 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
 保護手袋/保護衣/保護面を着用すること。
 保護眼鏡/保護面を着用すること。
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。
 医師に連絡すること。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
 呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。
 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

貯蔵

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：
 混合物

成分名	成分名[別名]	含有量 (%)	CAS No.	化審法番号	化審法
タングステン酸ナトリウム	-	7.3	13472-45-2	1-794	-
モリブデン酸ナトリウム	-	1.7	7631-95-0	1-478	-
りん酸	-	5.9	7664-38-2	1-422	-
塩化水素	-	3.6	7647-01-0	1-215	-
硫酸リチウム	-	11	10377-48-7	1-769	-
臭素	-	0.42	7726-95-6	-	-
水	-	71	7732-18-5	-	-

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

タングステン酸ナトリウム, モリブデン酸ナトリウム, りん酸, 塩化水素

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

タングステン酸ナトリウム, モリブデン酸ナトリウム, りん酸, 塩化水素

4. 応急措置**応急措置の記述****一般的な措置**

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

**吸入した場合**

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置**消火剤****適切な消火剤**

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

使ってはならない消火剤データなし

特有の危険有害性

加熱すると容器が爆発するおそれがある。
火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火を行う者への勧告**特有の消火方法**

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

防火服又は防災服を着用すること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置**人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置**

回収が終わるまで十分な換気を行う。
適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

二次災害の防止策

漏出物を回収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意**取扱い****技術的対策**

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(火災・爆発の防止)

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

(局所排気、全体換気)



排気/換気設備を設ける。

(注意事項)

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

保護手袋/保護衣/保護面を着用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

取扱中は飲食、喫煙してはならない。

接触回避

「10.安定性及び反応性」参照

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

保管

安全な保管条件

容器を密閉しておくこと。

直射日光を避け、換気の良い涼しい場所で保管する。

安全な容器包装材料

ガラス

ポリエチレン

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度データなし

許容濃度

(りん酸)

日本産衛学会(1990) 1mg/m³

(塩化水素)

日本産衛学会(2014) (最大値) 2ppm; 3.0mg/m³

(臭素)

日本産衛学会(1964) 0.1ppm; 0.65mg/m³

(タングステン酸ナトリウム)

ACGIH(2016) TWA: 3mg-W/m³(R)(肺損傷)

(モリブデン酸ナトリウム)

ACGIH(1999) TWA: 0.5mg-Mo/m³(R) (下気道刺激) (可溶性化合物)

TWA: 10mg-Mo/m³(I); 3mg-Mo/m³(R) (下気道刺激) (不溶性化合物)

(りん酸)

ACGIH(1992) TWA: 1mg/m³;

STEL: 3mg/m³ (上気道, 眼及び皮膚刺激)

(塩化水素)

ACGIH(2000) STEL: 上限値 2ppm (上気道刺激)

(臭素)

ACGIH(1991) TWA: 0.1ppm;

STEL: 0.2ppm (上下気道刺激、肺損傷)

OSHA-PEL

(臭素)

TWA: 0.1ppm, 0.7mg/m³

(塩化水素)

STEL: C 5ppm, 7mg/m³

(モリブデン酸ナトリウム)

TWA: 5mg-Mo/m³ (Soluble compounds)

TWA: 15mg-Mo/m³ (Insoluble compounds–Total dust)



(りん酸)

TWA: 1mg/m³

ばく露防止

設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。

洗眼設備を設ける。

手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：液体

色：黄色

臭い：わずかな刺激臭

融点/凝固点データなし

沸点又は初留点データなし

沸点範囲データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

引火点データなし

自然発火点データなし

分解温度データなし

pHデータなし

動粘性率データなし

溶解度：

水に対する溶解度：水溶性

n-オクタノール/水分配係数データなし

蒸気圧データなし

密度及び/又は相対密度：1.22

相対ガス密度(空気=1)データなし

粒子特性データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

データなし

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

(モリブデン酸ナトリウム)

加熱すると、分解する。酸化ナトリウムなどの有毒なフュームを生じる。ハロゲンと激しく反応する。火災や爆発の危険を生じる。(ICSC 1010)

(りん酸)

本物質は、中程度の強酸。塩基と激しく反応する。アゾ化合物、エポキシドの影響下で、激しく重合する。燃焼すると、リン酸化物の有毒なフュームを生成する。アルコール、アルデヒド、シアン化物、ケトン、フェノール、エステル、硫化物または有機ハロゲン化合物と接触すると、分解する。有毒なフュームを生じる。多くの金属を侵す。引火性/爆発性ガス(水素)を生じる。(IC



SC 1008)

(塩化水素)

気体は空気より重く、低くなった場所では、滞留して酸素欠乏を引き起こすことがある。
水溶液は、強酸である。塩基と激しく反応し、腐食性を示す。酸化剤と激しく反応する。有毒なガス(塩素)を生じる。水の存在下で、多くの金属を侵す。引火性/爆発性ガス(水素)を生じる。

(ICSC 0163)

(臭素)

蒸気は空気より重い。

加熱すると、有毒なフェームを生じる。本物質は、強酸化剤。可燃性物質や還元性物質と激しく反応する。大部分の有機化合物、無機化合物と反応し、火災および爆発の危険をもたらす。金属、ある種のゴム、プラスチックおよび被覆剤を侵す。(ICSC 0107)

避けるべき条件

混触危険物質との接触。

火源との接触。

混触危険物質

塩基、酸化性物質、還元性物質、ハロゲン、アルコール、アルデヒド、シアン化物、ケトン、フェノール、エステル、硫化物、有機ハロゲン化物、金属、可燃性物質、有機化合物、無機化合物

危険有害な分解生成物

酸化ナトリウム、リン酸化物、水素、塩素

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]

(タングステン酸ナトリウム)

rat LD50=1190mg/kg (DFGOT vol.23, 2007)

(モリブデン酸ナトリウム)

rat LD50=250mg/kg (環境省リスク評価第10巻, 2012)

(りん酸)

rat LD50=ca. 2000mg/kg (SIDS, 2011)

(塩化水素)

rat LD50=238mg/kg (SIDS, 2009)

(硫酸リチウム)

rat LD50=613mg/kg (RTECS, 2005)

(臭素)

rat LD50=2600, 3100mg/kg (HSDB, 2014)

急性毒性(経皮)

[日本公表根拠データ]

(りん酸)

rabbit LD50=1260mg/kg (85%)(100%換算値:1071 mg/kg)(SIDS, 2011)

急性毒性(吸入)

[日本公表根拠データ]

(りん酸)

mist: rat LC50=0.9615mg/L/4hr (SIDS, 2011)

(塩化水素)

mist: rat LC50=0.42mg/L/4hr (SIDS, 2009)

(臭素)

vapor: mouse LC50=120ppm/4hr

労働基準法: 疾病化学物質

塩化水素; 臭素

局所効果

皮膚腐食性/刺激性



- [日本公表根拠データ]
(モリブデン酸ナトリウム)
強い刺激性 (HSDB, 2015)
(りん酸)
ラビット 85%溶液/腐食性 (SIDS, 2011); 刺激性 I (EPA Pesticide)
(塩化水素)
ラビット/マウス/ラット/ヒト 腐食性 (SIDS, 2009)
(臭素)
ヒト 極度の刺激性 (ACGIH 7th, 2001)
- 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
[日本公表根拠データ]
(タングステン酸ナトリウム)
ラビット 軽度の結膜刺激 (PATTY 6th, 2012)
(モリブデン酸ナトリウム)
眼刺激性 (HSDB, 2015)
(りん酸)
ラビット (75-85%) 腐食性 (SIDS, 2011)
(塩化水素)
ラビット 腐食性 (SIDS, 2002)
(臭素)
著しい刺激性 (ACGIH 7th, 2001)
- 呼吸器感作性又は皮膚感作性
呼吸器感作性
[日本公表根拠データ]
(塩化水素)
cat. 1; 日本職業・環境アレルギー学会
- 生殖細胞変異原性
[日本公表根拠データ]
(モリブデン酸ナトリウム)
cat. 2; 環境省リスク評価第10巻, 2012
- 発がん性
[日本公表根拠データ]
(モリブデン酸ナトリウム)
cat.2; ACGIH A3 (ACGIH 7th, 2003 (可溶性モリブデン化合物))
(塩化水素)
IARC-Gr.3 : ヒトに対する発がん性については分類できない
(塩化水素)
ACGIH-A4(2000) : ヒト発がん性因子として分類できない
(モリブデン酸ナトリウム)
ACGIH-A3(1999) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明
- 生殖毒性
[日本公表根拠データ]
(モリブデン酸ナトリウム)
cat. 2; 環境省リスク評価第10巻, 2012
- 特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性(単回ばく露)
[区分1]
[日本公表根拠データ]
(りん酸)
呼吸器 (SIDS, 2011; HSDB, 2014)
(塩化水素)
呼吸器系 (ACGIH, 2003)
- [区分3(気道刺激性)]
[日本公表根拠データ]



(モリブデン酸ナトリウム)

気道刺激性(環境省リスク評価第10巻, 2012)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(モリブデン酸ナトリウム)

全身毒性、精巢(モリブデン酸ナトリウム二水和物(CAS: 10102-40-6) 環境省リスク評価第10巻, 2012)

(塩化水素)

菌、呼吸器系(SIDS, 2002)

[区分2]

[日本公表根拠データ]

(モリブデン酸ナトリウム)

腎臓(モリブデン酸ナトリウム二水和物(CAS: 10102-40-6) SIDS/SIAP, 2013)

誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

水生生物に毒性

長期継続的影響によって水生生物に有害

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(塩化水素)

甲殻類(オオミジンコ) EC50=0.492mg/L/48hr (SIDS, 2005)

(りん酸)

魚類(メダカ) LC50=75.1mg/L/96hr (SIDS, 2011)

(臭素)

甲殻類(オオミジンコ) LC50=1mg/L/48hr (Aquire, 2003)

水溶解度

(モリブデン酸ナトリウム)

84 g/100 ml (100°C) (ICSC, 2004)

(塩化水素)

67 g/100 ml (30°C) (ICSC, 2000)

(りん酸)

非常によく溶ける (ICSC, 2000)

(臭素)

4.0 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2009)

残留性・分解性

残留性・分解性データなし

生体蓄積性

(塩化水素)

log Pow=0.25 (ICSC, 2000)

土壌中の移動性

土壌中の移動性データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。



内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号またはID番号：1760

正式輸送名：

その他の腐食性液体、N.O.S.

分類または区分：8

容器等級：III

指針番号：154

特別規定番号：223; 274

IMDG Code (国際海上危険物規程)

国連番号：1760

正式輸送名：

その他の腐食性液体、N.O.S.

分類または区分：8

容器等級：III

特別規定番号：223; 274

IATA 航空危険物規則書

国連番号：1760

正式輸送名：

その他の腐食性液体、N.O.S.

分類または区分：8

危険性ラベル：Corrosive

容器等級：III

特別規定番号：A3; A803

環境有害性

MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止

海洋汚染物質(該当/非該当)：非該当

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード

有害液体物質(Z類)

塩化水素; リン酸

有害でない物質(OS類)

水

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法

腐食性物質 分類8

航空法

腐食性物質 分類8

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則 特定化学物質 第3類

塩化水素

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

塩化水素(別表第9の98); タングステン酸ナトリウム(別表第9の337); モリブデン酸ナトリウム(別表第9の603); リン酸(別表第9の618)

名称通知危険/有害物

塩化水素(別表第9の98); タングステン酸ナトリウム(別表第9の337); モリブデン酸ナトリウム(別表第9の603); リン酸(別表第9の618)



表第9の603);りん酸(別表第9の618)
化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。
消防法に該当しない。
大気汚染防止法
ばい煙
有害物質 政令第1条第1号から第5号
塩化水素
有害大気汚染物質
モリブデン酸ナトリウム
特定物質 政令第10条第1号から第28号
臭素; 塩化水素
水質汚濁防止法
指定物質
塩化水素
法令番号 5
臭素
法令番号 43
モリブデン酸ナトリウム
法令番号 46

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 21th edit., 2019 UN
IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)
IATA 航空危険物規則書 第62版 (2021年)
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2020 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
2020 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
Supplier's data/information

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の手続きを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 令和元年度(2019年度))です。